

ネイチャーセンターだより



ベニヒワ

英名：Redpoll 学名：*Carduelis flammea*

まるで頭に赤いベレー帽をかぶったようなベニヒワは、北極圏のタイガなどで繁殖し、冬になると日本に渡ってきますが、年によって渡ってくる数が大きく変動します。カンバ類やグイマツ、ハンノキ類の種子が豊作の年は、冬になっても繁殖地からほとんど移動しないこともあります。

今年は、ベニヒワの当たり年のように、根室でも春国岱やネイチャーセンター前の草原などで見ることができます。

メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ：http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

ネイチャーセンターからのお知らせ

春国岱の木道が開通しました 1 / 1 2

2006年10月7～9日、発達した低気圧の通過によって、春国岱は、木道の破損や倒木の被害を受けました。このため、春国岱の森を周るアカエゾマツコースとキタキツネコースは1年あまり通行止めになってしまいました。昨年の秋から改修工事を始め、1月12日に、ついに開通しました。

森の中は、まだまだ倒木がたくさんあるので、アカエゾマツコースは以前の一周するコースではなくなりましたが、地面をミズゴケが覆うアカエゾマツ林のところまで入っていくことができます。冬の時期、イスカやククイタダキなどの小鳥がやってくるので、ぜひ新しい木道を通ってみてください。

なお、第一砂丘にある展望台は、老朽化のため現在使用中止となっております。ご了承ください。



アカエゾマツコースが一部変更となりました

エサ台はじめました

毎年冬になるとネイチャーセンター前に設置しているエサ台を今年も設置しました。

ヒマワリの種と、脂身を置いています。ヒマワリの種はペットボトルを使ったフィーダーであげています。

毎日、シジュウカラやゴジュウカラ、ハシブトガラ、アカゲラなどがやってきています。たまにジョウビタキやカケスなどもやってきます。まだ、エナガやオオアカゲラは来ていませんが、もしかしたら見られるかもしれません。

窓際に設置した観察ボックスからは、すぐ近くで見ることができますので、鳥たちを脅かさないようにそっと観察してみてください。



ヒマワリ種を食べにやってきたゴジュウカラ

ネイチャーセンターボランティアの活動

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ～フィールドボランティア募集～

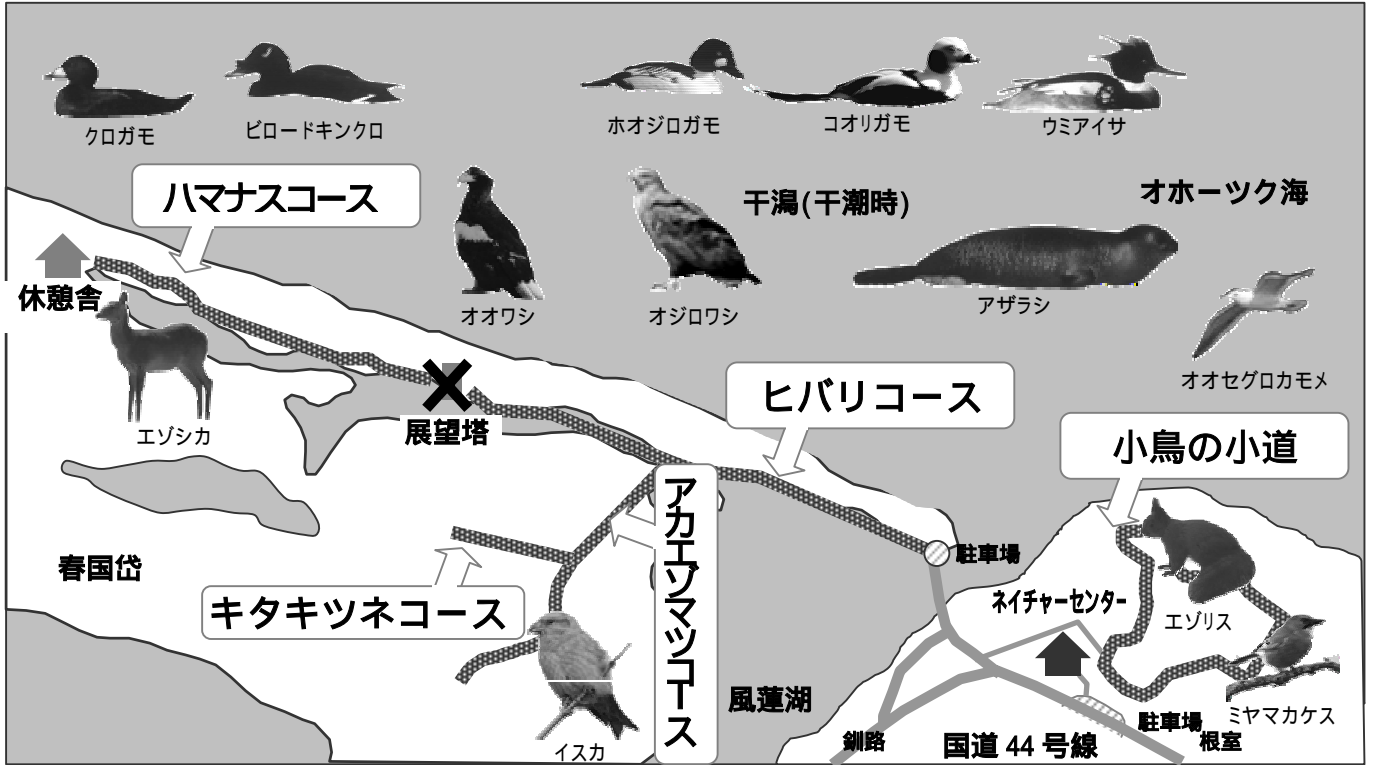
ワシ調査体験

フィールドボランティアの活動の1つであるワシのカウント調査に参加し、実際に調査の手伝いをします。どうぞお気軽にご参加ください。

- ・日時： 2月3日 2月15日 2月24日 各日とも8:00～12:30
各回とも同じ内容です。
- ・対象：高校生以上10名

2・3月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースが開通しました。
 浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道も散策できます。
 展望台は老朽化のため現在ご利用できません。
 センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



～小鳥の小道～

エナガ (シマエナガ)

ネイチャーセンター前のエサ台や自然学習林で見ることができます。
 自然学習林では、シジュウカラやハシブトガラなどの群れの中に混ざっていることもあります。



～ハマナスコース～

ビロードキンクロ

普段は沖の方にいることが多いですが、時々ネイチャーセンター前の湾にもいます。
 オスは真っ黒な体に、目の下の三日月形の白い模様が特徴です。嘴も特徴的で、赤い地に黄色い模様が入り、付け根の方は黒く、こぶになっています。



～アカエゾマツコース～

イスカ

松の仲間の種子を食べる鳥で、上下食い違ったくちばしは、松かさをごじ開けて、中の種を食べるのに適しています。
 春国岱では、アカエゾマツやトドマツの林で見られます。



～キタキツネコース～

オオアカゲラ

アカゲラによく似ていますが、アカゲラより一回り大きく、胸からお腹にかけて黒い縦の線が入るので区別できます。
 時々、ネイチャーセンター前のエサ台にも、脂身を食べにやってきます。



2・3月のイベント

ねむろバードランドフェスティバル

野鳥の楽園根室で初めて開かれる野鳥の祭典。野鳥写真家、叶内拓哉氏による講演会や地元ガイドによる根室半島一周探鳥ツアー、氷上のワシを観察するワシワシウォッチングなど様々なイベントを用意しています。

開催期間：2月9日(土)～2月11日(月)

対象：どなたでも

場所：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

根室市白鳥台センター「スワン44ねむろ」

根室市温根沼会館コミュニティ「みずとり」

北海道北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」

問合せ：市役所商工観光課(0153-23-6111/内線2271・2272)

各イベントの詳細はHPに掲載してありますので、そちらをご覧ください。

http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/section/kanko/birdfes/birdfes_top.html



ネイチャーイラストレーター 松下(宮野)和江イラスト展

『魔女の薬室 officin』

ファンタジーや民話などで、すっかりお馴染みの「魔女」。

彼女達はしばしば、薬草や動物などが原材料の、怪しげな薬や道具を使います。

実は現代の魔女のお話に出てくる原材料は、想像上のものが多いんです。

でも、ちゃんと現実存在している「魔法の動植物」だって、たくさんいます。

今回は、実際に薬効がある動植物の中で、日本で見られる魔女たちに関わりの深い魔法の生き物たちを、写真やイラストなどを使って、ヨーロッパの魔法や伝承などと一緒にご紹介します。

展示期間：2月16日(土)～3月2日(日) 開館時間中(9:00～16:30 水曜閉館)

場所：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター1階

春国岱・風蓮湖フィールド講座

『片野鴨池に学ぶワイズユース』

石川県加賀市にある、ラムサール登録湿地「鴨池」のチーフレンジャーを講師に、ラムサール条約についてや、鴨池での活動を紹介してもらいます。

日時：3月16日(日) 13:30～16:00

定員：40名(高校生以上)

場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階 視聴覚室

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp

2・3月の開館時間

9:00～16:30

2月の休館日

6・12・13・20・27

3月の休館日

5・12・19・21・26

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター